

木 Lifeシリーズ

《どんぐりの家》の最高峰モデル。





《木 Life シリーズ》は、オーガニックでエコロジカルな 住まいづくりを実現しています。

日本の家づくりは、元来、裏山や里山にある木を棟梁たちが吟味して木材として伐り出し、家の柱や梁などに使用したものでした。昔は、家屋に使われている木材ひとつにしても原産地が明らかで生産者も明確だったのです。

しかしながら、現代の日本の家づくりでは、バブル時代を全盛期とした大量生産・大量消費によって、どこが産地で、誰が生産したのかわからないというように、素材に関する情報がまったくと言ってよいほどわからなくなっています。木材にしても、何県産のものなのか、防虫・防カビ処理などはどのように行なわれているのか、それを家屋に使用した時に、住む人はもとより、施工に携わる職人の健康や環境に及ぼす影響はどうか、はっきり開示されていません。

しかし、そのような木材に用いられている薬剤をはじめとする化学物質は、アトピー性皮膚炎、シックハウス症候群、化学物質過敏症などを引き起こす要因のひとつになっているのは明らかです。昔は、代々その知恵を活かし続けてきた結果、こういった問題がおのずと解決されていました。

私たち「どんぐりの家イニシア」では、これから家づくりを検討されるお客様に、木材・塗布剤などの中身の情報を明らかにして開示し、住む人をはじめ家づくりに携わる人までの健康および住環境への安全性の裏付けに基づいた家づくりを行っています。そのひとつの到達点がこの《木 Life シリーズ》です。この家づくりにおいては、

- ① オール国産材
- ② 厚生労働省室内環境指針 13 化学物質+独自 39 化学物質が基準値以下
- ③ 廃棄時に環境負荷がない
- ④ 施工時に大工・職人の健康を害さない
- ⑤ 地域貢献への積極的な取り組み

を実現しています。

私たちは、「本当に良いもの」を、実際に見て、触って、試すことによって見極め、一棟一棟丹精込めて作り上げていくことで、お客様に安心していただける家づくりを続けてまいります。

エアコンを使わない、消費エネルギーの少ない家づくりを目指します。

《木 Life シリーズ》のもうひとつのテーマは、1年を通じてエアコンを極力使わないですむ、消費エネルギーの少ない家づくりです。高断熱(W断熱)性能と、軒・庇・袖壁を効果的に設けたパッシブ設計で、屋根・壁・開口部から夏は熱を入らず、冬は熱を逃がさず、なおかつ風通しの良い家をつくりまします。

また、太陽光発電と省エネ家電を組み合わせることによって《ゼロエネルギー住宅》となり、さらには井戸水も利用することによって緊急災害時にも役立つ家となります。

私たちは、

- 自然素材に囲まれた心地良さ
- 健康で安心して暮らせる喜び
- 省エネで家計にも地球にも優しい家づくりを、皆様と一緒に作り上げていきたいと考えます。

合板・集成材を使用しない天然木仕様《オール国産材》

《木 Life シリーズ》では、良質な天然無垢材をさらに吟味して供給し、平衡含水率を考慮して、構造材は15%を、床材は5%を目安に、産地の明確な国産材で産地・材種に合わせた人工乾燥・天然乾燥材を取り揃えました。1階は奈良県の吉野ヒノキ・吉野スギ、2階は茨城県の八溝山系スギ・ヒノキを使用しています。土台と柱はすべて4寸角、リビングに鎮座する丸太柱は末口30cmの天然乾燥による樹齢70年の吉野スギを使用しています。床材は1階が吉野ヒノキ(無垢板20mm厚)、2階が大分県の津江スギ(無垢板30mm厚:鶴作り仕上げ)を使用しています。本棚・食器棚・手洗い収納などは、合板・集成材をいっさい使わずに、津江スギ(トラパネ20mm厚/30mm厚)を使用して造作したものです。国産材には、この他に紀州・美作・秩父・尾鷲・木曾・富士・山武・秩父・日光・青森などを採用しており、さらに良いものを追求していきます。

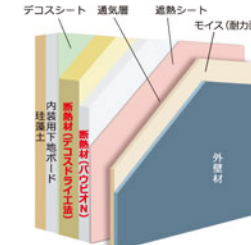
夏涼しく冬暖かい室内空間《通気空間設計》

夏は、温まった空気が「登り梁」に沿って2階の高所通気窓(3ヶ所)から抜けるように設計されています。一方、冬は、熱源を大容量のパーマントキャスティング社製の薪ストーブ「デファイアント」を使って、一度暖まった熱を高断熱構造で逃がさないようにして、シーリングファン(4機)で温度差が少なくなるように設計されています。



ダブル断熱《デコスドライ工法+パウピオN》

熱伝導率の低い自然素材の断熱材2種類を内側に「デコスドライ工法」を採用し、外側には自然素材の外張断熱材「パウピオN」をダブルで使用し、さらに屋根と外壁を遮熱シートで覆っています。これにより、家屋の全体が夏の猛暑を室内に伝えることなく、冬の暖かい熱は室内から逃がしません。しかも防湿層が不要なため調湿効果も抜群で、結露を防ぎ、家にも住む人にも優しい室内空間となっています。さらに「パウピオN」は、燃えにくく高温にも耐え、水にも変形しない、まさに「鎧(よろい)」のような役割です。



家族がつながる室内構造《登り梁》

弊社の《想 .sou シリーズ》と《木 Life シリーズ》では「登り梁」を採用しています。通常の梁(はり)は、「横架材(おうかざい)」と言って横木を水平に渡しますが、「登り梁」の場合は斜めに渡します。これによって「小屋組」を空間として利用し、居住体積を大きくするとともに、屋根を1枚にすることで居室同士の、1階と2階の空間をつなげることができます。これで室内空間が個室化することなく、家族同士もつながってコミュニケーションがよくなります。



ゼロエネルギー住宅《太陽光発電・LED照明》

通気設計と断熱構造により夏・冬ともにエアコンを使わず、省エネ家電とLED照明で節電を行い、電力不足に貢献します。さらに、太陽光発電(5kW)を搭載しており「ゼロエネルギー住宅」を進化させた「プラスエネルギー住宅」も目指しています。



水不足にも対応《井戸水》

敷地内には井戸が掘られています。井戸は、渇水の際や緊急断水などの水不足の際に、自宅だけでなく近隣住民の生活維持にも役立ちます。太陽光発電との組み合わせで、停電の際にも利用できます。また、家屋の冷却にも利用でき、《木 Life シリーズ》では、真夏に井戸水でガルバリウム鋼板の屋根を冷やす装置を施しました。



住まう人の《個々のこだわり》 が標準仕様です。

大手ハウスメーカーでは不可能な、ローコストビルダー+建売住宅とは考えが全く逆の発想です。《木 Life シリーズ》は、個別対応の難しい大量の工場生産体制の大手ハウスメーカーや、できるだけ手間をかけずに最短工事を目指すローコストビルダーや建売住宅とは根本的に考え方が異なり、細部まで手の込んだ仕事に徹します。



厚労働省環境指針 基準値以下の室内環境 《化学物質測定》

家屋の竣工後には、約1週間をかけて「厚生労働省室内環境指針：13種類+独自基準の化学物質：39種類（合計52種類）」の化学物質の測定を行い、基準値以下を確認しています。



化学物質塗料の排除《接着剤・コーキング》

通常、本棚・洗面収納・食器棚・床材を貼る際に使われる木工用ボンド類をいっさい使用せず、昔ながらに使われている膠（にかわ）接着剤を使用しています。また、気密性や防水性のために隙間を埋めるコーキング剤も VOC（揮発性有機化合物）不検出のものを使用しています。

シロアリ・ゴキブリ対策に効果抜群 《ホウ酸処理防蟻剤》

従来使われている一般的な農業系防蟻剤は揮発性で、5年ほどで揮発してしまうため効果がなくなります。また、住む人にも害を及ぼす危険性もあります。《木 Life シリーズ》では、防蟻剤に、鉱物から精製された安全で揮発しない天然ホウ酸を使用し、土台・柱・梁などのすべての構造材に塗布します。この防蟻剤は効果が長持ちし、シロアリのほかにゴキブリ、アリ、クイイ虫の防除にも適しています。

この防蟻剤は、オーストラリアでは1930年代から、アメリカでは1980年代から使われているもので、ハワイ州ではほとんどがホウ酸処理されています。



震度7クラスの地震への対策 《コラボパワー構法》

早稲田大学との産学連携で生まれた「コラボパワー構法」を採用しています。土台・柱・梁などの構造材を、すべて4寸角以上の柱として、耐震金物・筋交い・耐力面材とを組み合わせた「耐震+制震」で、震度7クラスの地震にも対応して揺れを最大50%抑えることができます。



厳しい基準をクリアした建築設計 《1棟ごとの構造計算》

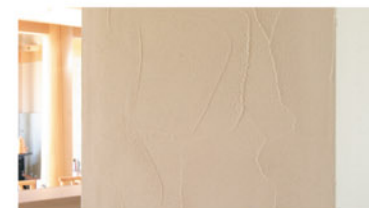
1棟ごとに構造計算専門の設計事務所に「構造計算」を依頼し、重心・剛心の偏心を極力小さくするとともに、耐力壁のバランスを整えます。その結果、材積（構造材の量）が多く吹抜け勾配天井といった大空間づくりでも、強い構造となります。

■内装仕上げ・設備・インテリアコーディネート



無垢床材

国産のスギ・ヒノキ・赤松・ヒバなどを、平衡含水率にこだわって選定します。自然素材ワックスの蜜蝋またはキヌカを塗って仕上げます。



内装仕上げ

珪藻土の含有量が50~80%で、合成樹脂を含まない塗り壁、和紙、無垢板貼など、調湿機能の良いものを使用します。



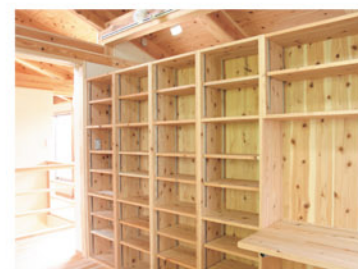
キッチン・浴室・洗面

千葉県内や都内のショールームを巡って、既製品またはオーダー・造作のお気に入りの1点をお探しします。また、手洗いボールは、益子焼き窯元から直接買い付けます。



木製建具

青森ヒバ・山武スギ・美作ヒノキなどの産地が明らかで“生産者の顔が見える”地域材を使用し、敷居のない吊戸タイプの引戸を基本にしています。



造作家具・食器棚・収納庫

国産の無垢板を使用した、大工さん・建具職人さんによる手づくりの造作です。

■外壁・エクステリア

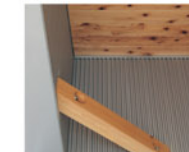


外壁

板貼り・漆喰塗り壁・ガルバ鋼板貼りの貼り分けを基本にして、一部に大谷石貼りも採用しています。

エクステリア

リビングの続きとして広めのウッドデッキを設け、庭との繋がりを大切にします。造作の車庫から、門扉・塀・花壇・植栽までをトータルにご提案します。





《木 Life シリーズ》の
ご相談はこちら
TEL: 0120-234-934

<http://www.good-donguri.com/chiruchin/>



木Lifeシリーズ

所在地 千葉県野田市山崎2184-1
 延床面積 151.67平方メートル (45.88坪)
 1階 93.98平方メートル (28.42坪)
 2階 57.69平方メートル (17.45坪)



こちらは事前予約制の見学になります

《本物の木の家》の情報満載
www.good-donguri.com

株式会社 どんぐりの家イニシア
TEL: 0120-234-934
 〒278-0026 千葉県野田市花井 1-19-21 FAX: 04-7123-8780

株式会社 グッドリビング

●一級建築士事務所登録 ●建設業許可: 千葉県知事許可(般-21)第 42002 号 ●社団法人 全国中小建築工事業団体連合会正会員
 ●財団法人 住宅保証機構加盟店 ●ちばの木の家づくり推進店: 第 22-20 号 ●宅地建物取引業免許: 千葉県知事(3) 第 14302 号
 ●社団法人 全国宅地建物取引業保証協会会員 ●社団法人 千葉県宅地建物取引業協会会員